



## 新保 峰孝 議員

### 質問

#### 権現荘の現状と課題、今後について

- (1)権現荘の経営悪化後、市は平成21年4月から民間から支配人をどのような考えをもって採用し、どのような内容で契約したか。
- (2)支配人採用後の人事管理上の問題、営業上の問題についてどのように対応してきたのか。リニューアルオープン後明らかになった諸問題についてはどうか。
- (3)指定管理に移行する時期を2年後にしている理由は何か。

### ▼市長答弁

- (1)支配人採用の目的は、権現荘に民間的な経営手法を導入することができる人材を登用することであり、任期付き職員として採用した。
- (2)職員管理や営業面など一般的に民間的な手法を取り入れてきた。リニューアル後明らかになった問題の、原価率については原価管理システムの導入を図り、超過勤務問題につ

ては本年度3名の職員採用を実施している。

- (3)指定管理者制度では指定管理料を決めることが大変重要であり、市ではリニューアル後の2年間の経営実績を見た上で少しでも有利な条件で進めていきたいと考えている。

### 質問

#### 北陸新幹線の騒音・振動公害について

北陸新幹線開業後も騒音、振動被害が続いているが、現状をどのように捉えているか。

騒音、振動対策にどのように取り組まれているか。市として、市民の立場で改善されるよう取り組んでいるか。関係住民の方たちの要望は、騒音、振動対策にどのように反映し、対応されているか。

### ▼市長答弁

騒音等は、特にトンネルの出入り口付近で基準値を上回っている状況である。市独自の騒音等の測定を行い、実態の把握に努めているところである。

市は、地元要望について鉄道・運輸機構の対策を要請しており、柱道、梶屋敷地区のトンネルの出入り口の緩衝工の閉塞工事を終了し、今後、騒音レベルの高い地区では吸音板設置等の音源対策工事を実施することとなっている。また、該当する住宅の防音工事の補償も進めている。



## 田原 実 議員

### 質問

#### 地域医療の現状と課題、市の対応について

- (1)糸魚川圏域の医師・看護師数の現状と確保について、(2)365日24時間救急医療体制の現状、糸魚川圏域での2.5次救急医療体制について、(3)上越、富山圏域との医療連携、新潟県との連携、新幹線を使った広域医療連携について、(4)市民からの地域医療への不満の声、その分析と対策について、それぞれ伺う。

### ▼市長答弁

- (1)本年5月現在で医師60人、看護師は平成26年12月の調査で280人と国、県平均より少ない状況であり、医師、看護師の確保に引き続き努めていく。
- (2)医師会や糸魚川総合病院の協力で実施しており、2.5次救急体制についても糸魚川総合病院での維持を支援してきている。
- (3)市外医療機関や県との連携は重要であり、努めてきた。新

幹線の活用については、通勤範囲が拡大したことから、今後、積極的な利用ができると考えている。

- (4)常勤医師が不在の診療科に対して不安の声をお聞きしており、引き続き関係機関と連携して要望活動を強化していく。

### 質問

#### 糸魚川市の一般廃棄物対応と次期ごみ処理施設の整備について

- (1)「糸魚川市一般廃棄物処理基本計画」の見直しについて、(2)一般廃棄物最終処分場適正化事業について、(3)次期一般廃棄物最終処分場の整備、設計・工事・運営について、(4)環境教育について、それぞれ伺う。

### ▼市長答弁

- (1)これまでのごみ処理の実績などを踏まえて、ごみ減量の目標数値を見直している。
- (2)昨年度適正化事業が完了したので、今後は、環境保全に関する協定書に基づき、適正な施設の維持管理に努めていく。
- (3)本年度からクローズドシステム処分場の建設に係る基本構想・基本設計を実施し、整備内容や運営方法などについて検討していく。
- (4)「ごみの分別とリサイクル」の出前講座や市内小学校の授業において、清掃センターを見学いただいている。

### その他質問項目

- 権現荘問題について